



「もしも」の備え、 「今」でできること

8月8日に日向灘を震源とする大規模な地震が発生し、同日には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が初めて発表されました。日本は世界の中でも自然的条件から災害が起こりやすい国です。防災意識を普段の生活に取り入れ、あらためていざという時のためにしっかり備えておきましょう。



大田区長 鈴木晶雅

||||| ライフラインに合わせた備えを! |||||

被災者の声 /

ガス

供給が遮断されると...



東日本大震災 体験談

1週間以上入浴ができず、つらかった。

- お風呂に入れない
- 調理ができない

備えるもの：カセットコンロ・ボンベ、ウエットシート、ドライシャンプー など



水道

断水が発生すると...



東日本大震災 体験談

家のトイレが1週間以上使えなかった。最寄りの仮設トイレまで、1日に数回500mほど歩いた。

- トイレが使えない
- 飲み水がない
- 歯磨きができない

備えるもの：災害用トイレ(1人5個/日)、飲料水(1人3L/日)、歯磨き用ウエットティッシュ など



電気

停電・計画停電が実施されると...



能登半島地震 体験談

モバイルバッテリーを持って避難したので、バッテリーには困らなかった。

- 夜に身動きが取れない
- 携帯電話の充電ができない
- 冷暖房器具が使えない

備えるもの：モバイルバッテリー(電池式やソーラー式)、懐中電灯、防寒具、カイロ、冷却スプレー、汗拭きシート など



通信

電話やネットなどの通信障害が発生すると...



東日本大震災 体験談

携帯電話がつながりづらく、地震や津波の被害状況が把握できなかった。

- 家族と連絡が取れない
- 情報収集ができない

備えるもの：携帯ラジオ
今できること：災害用伝言ダイヤル(171)を覚える、家族と集場所を決める、大田区防災アプリをダウンロードするなど



備える 使う 補充する ローリングストック を生活に取り入れましょう

普段の買い物で少し多めに購入し、消費期限を確認しながら消費と補充を繰り返すことで、常に一定量の備蓄を維持できます。ライフスタイルに合わせて、必要なものを備蓄しましょう。

ポイント

- 普段食べている物を少し多く購入
- 2~3か月に1回、消費期限の確認
- すぐに取り出せる場所に置く



ローリングストックに適している備蓄品

- ▶ 飲料水 ▶ 野菜・フルーツジュース
- ▶ カレー・スープなどのレトルト食品
- ▶ 缶詰、瓶詰の食品
- ▶ フリーズドライの汁物
- ▶ ドライフルーツ、ナッツ
- ▶ ようかんやチョコレートなどの日持ちするお菓子
- ▶ ウエットシート
- ▶ カセットボンベ ▶ 乾電池
- ▶ 使い捨てカイロ
- ▶ ラップ、紙皿、割り箸 など